

かんが
考えてみよう

さん び かんしゃ み つ 賛美と感謝を身に着ける

せいしよ か
聖書には、こう書かれているよ：

しゅ ちから だて こところ しゅ よ だの だす え こところ
主はわが力、わが盾。わたしの心は主に寄り頼む。わたしは助けを得たので、わたしの心は
おお よろこ うた しゅ こう こ やくせいしよ しへん
大いに喜び、歌をもって主をほめたたえる。（口語訳聖書、詩篇 28:7）

かんが
考えてみよう：

さん ひ かみさま かんしゃ き も あらわ かみさま さん ひ と
賛美は、神様への感謝の気持ちを表すことだ。神様とのコミュニケーションに賛美を取り
いれるのは、きみ かみさま つよ ひと ほうほう
入れるのは、君の神様とのつながりを強める一つの方法だよ。

かみさま ねが だす
神様とのコミュニケーションにおいては、お願いばかりになりがちかもしれないね。助けを
もと 求めたり、どうしてがっかりさせるようなことがおこったのかをたずねたり、あるいはただ
にちじょう つた さん ひ かみさま かんしゃ き も つた み
日常のことを伝えるだけだったりね。でも、賛美して神様に感謝の気持ちを伝えることを身に
つ 着けると、それはきみ かみさま ちが まいにち せいかつ み おお
着けると、それは君を神様に近づけてくれるだけではなく、毎日の生活に満ちている多くの
しゅくふく め と かみさま きみ おお
祝福にも目を留めさせてくれ、神様がいつも君のそばにいてくれることを思い出させてくれる。
なに かみさま きみ だす しんらい
何があっても、神様は君を助けてくれると信頼できるようになるんだ！

かみさま きみ くだ かんが かみさま あい き あらわ
神様が君のためにして下さることをじっくり考えてみよう。神様の愛や気づかいの現れや、
せいかつ み しゅくふく こんなん なが ゆう き ささ くだ ち え あた くだ
生活に満ちている祝福、困難の中で勇気づけて支えて下さること、知恵を与えて下さること、
きみ つか くだ きみ せいかつ かみさま ちから はたら さが
君をなぐさめて包んで下さることなんがね。君の生活で神様の力が働いていることを探して
ごらん。かみさま さん ひ りゆう
ごらん。神様を賛美する理由がたくさん見つかるよ。

